

## 子育てにもコーチング

本人の能力を引き出し、自発的な行動につなげるコミュニケーション技術「コーチング」を子育てに取り入れる親が増えている。各地で開かれているセミナーでは「話の聞き方」や「子供の認め方」などを実践形式で紹介。「子供自身に考えさせ、やる気にさせる」ことを柱にしており自立につながるとして共感を得ているようだ。

結果だけではなく

今月はじめ、横浜市内の保育園で行われたセミナーに参加し集まったのは、小さな子供を持つ親や保育士ら40人。講師を務める「ファインコーチング」代表、山崎洋実さんが具体例を挙げながら話を進める。

この日のテーマは「承認」。子供の存在を認めることや結果ではなく過程まで見ることの大切さ、やる気を引き出す「認め方」の方法について学ぶ。「ペアを組み、1人は強みを話し、もう一人はほめて下さい」と言われた参加者が自分の長所を話始めた。「他人に認められるとやる気が出る」ことを理解してもらおうとするのが趣旨。子育ての中で「子供の良い点認め、ほめる」ことの重要性が納得できる。「照れくさいけどうれしい」といった感想がでるなか、山崎さんが「結果だけを見てほめるのではなく、失敗しても努力した過程を「認めて」あげて下さい。子供は「見てくれているんだ」とやる気を出しますよ」と付け加えた。2004年11月15日 日経新聞より抜粋

自分の子供に勉強しなさいと押し付けるのではなく、やっている努力を認めるのは本当に大切です。始めから結果が出る子供はほとんどいません。あたたかく長い目で見守ってあげましょう。

2004年保護者12月